

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)

実施報告書

HT26097 薬をつくるための「化学反応」の不思議



開催日：平成26年7月26日(土)

実施機関：東邦大学
(実施場所) (薬学部A館)

実施代表者：氷川 英正
(所属・職名) (薬学部・講師)

受講生：小学生18名

関連URL：<http://www.phar.tohoku.ac.jp/event/medclass2014.html>

【実施内容】

・受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

- ① 科研費の説明の際には、送付されたリーフレットを用い、参加者にわかりやすく説明を行った。
- ② 実習プログラムは受講者の希望をもとに午前と午後で2つのコースを体験できるようにコース分けし、2人～3人が1組となって相互に協力しながら実習を進められるようにした。

・当日のスケジュール

- 10:00～10:30 受付(名札・白衣の配付)
- 10:30～10:35 開講式
- 10:35～10:45 「ひらめき☆ときめきサイエンス」の説明
- 10:45～11:05 講義「薬をつくるための「化学反応」の不思議
- 11:05～11:15 休憩(トイレ・移動)
- 11:15～11:20 午前の部・スケジュール説明・諸注意
- 11:20～12:30 午前の部・体験実習 ※テキスト配付
- 12:30～13:25 昼食(学生食堂)
- 13:25～13:30 午後の部・スケジュール説明・諸注意
- 13:30～14:40 午後の部・体験実習 ※テキスト配付
- 14:40～15:10 修了式(未来博士号授与・クッキータイム)
- 15:10 終了・解散

・実施の様子

(実験の様子)





(未来博士号授与式の様子)



・事務局との協力体制

①習志野学事部入試広報課は、近隣の小学校に広報活動、受講生への連絡、名札作成等の当日に向けての諸準備を行い、また、委託費の管理及び支出報告書の確認を行った。学事統括部は日本学術振興会への連絡調整と提出書類の確認・修正を行った。

②書類や資料を管理するフォルダを共有し、相互の協力体制を整えた。

・広報活動

①6月のはじめから薬学部ホームページで実習の内容等を告知し、同時に申込み受付を開始した。

②A4判の案内チラシを作成し、近隣の小学校200校程度に発送した。

・安全配慮

①受講者全員が1日間の傷害総合保険に加入した。

②実習の際は、1テーブルの人数を6名(3組)までとし、各テーブルに指導員(教員、学部生)を1名以上配置した。

③午前と午後のそれぞれの実習の前に受講生を集め注意点を明確に指示した。

④受講者全員に簡易式白衣を配布した。

⑤薬品を使用する実験では、手袋と安全メガネを着用させた。

・今後の発展性、課題

申込締め切り後に欠席者が多数出た為、申込受付人数に余裕を持たせる必要があるか検討課題とする。

【実施分担者】

五郎丸 美智子
松尾 和廣
吉川 晶子

薬学部・講師
薬学部・講師
薬学部・助教

【実施協力者】 11 名

【事務担当者】

林 誠司

学事統括部・課長